

平成25年行政事業レビューシート

(外務省)

事業名	採取産業透明性イニシアティブマルチドナー信託基金拠出金(任意拠出金)		担当部局庁	経済局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度		担当課室	経済安全保障課		課長 内川 昭彦		
会計区分	一般経費		政策・施策名	基本目標 VII 分担金・拠出金 VII-2 国際機関を通じた経済及び社会分野に係る国際貢献				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法四条第三項 外務省組織令第六十八条第三項		関係する計画、通知等	EITI国際事務局からの要請				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	EITIは、石油・ガス・鉱物資源等の開発にかかわるいわゆる採取産業から資源産出国政府への資金の流れの透明性を高めることを通じて、腐敗や紛争を予防し、もって成長と貧困削減に繋がる責任ある資源開発を促進することを目的としている。かかる取組は、資源国における安定的な資源開発・供給にも繋がり、我が国の資源の安定供給確保にも資する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	EITIでは、資源消費国が中心の支援国をはじめ資源開発企業や資源関係機関からの拠出金による基金を有しており、世界銀行が委託機関として、EITI実施国がEITI活動を実施するための資金的な支援を行っている。EITI実施国はEITI認証ガイドにある加盟に関する5つの基準(注1)を満たした「候補国(Candidate Country)」となり、候補国となってから2年半以内にEITI認証基準(EITI Validation)(注2)をすべて満たした場合に「遵守国(Compliant Country)」と認定される。 <small>(注1) 加盟に関する5つの基準:①EITI実施のコミット、②市民社会及び民間部門と作業することへのコミット、③実施をリードする個人の指名、④マルチステークホルダーグループの設立、⑤利害関係者と同意した作業計画の作成 (注2) EITI 認証基準(EITI Validation):署名(Sign Up)5項目、準備(Preparation)8項目、公開(Disclosure)4項目、配布(Dissemination)1項目、審査と検証(Review and Validation)2項目</small>							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	—	13.35	12.1	16.4	8	
		繰越し等	—	—	—	—	—	
		計	—	13.35	12.1	16.4	8	
	執行額	—	13.35	12.1	—	—		
	執行率(%)	—	100%	100%	—	—		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	本イニシアティブへの参加国(遵守国)		成果実績	遵守国数	—	13	20	22
			達成度	%	—	100	100	—
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	理事会開催件数		活動実績 (当初見込み)	会議数	—	3	3	3
単位当たりコスト	4,050(円/3回)		算出根拠	理事会の会議あたりのコスト				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	その他	16	8	任意拠出金のうち優先事項を踏まえて減。				
	計	16	8					

事業所管部局による点検					
	項目		評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	日本企業も支援企業として参加しており、CSRの観点及び我が国の資源確保のからも有効な取組。サミット等でも言及されており、途上国のガバナンスや透明性の向上のために我が国としての関与が望ましい。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	EITIは、マルチドナー信託基金運営委員会で事業実施報告書が作成されるため、我が国は、これらの内容を精査・把握し、これらを踏まえ、事業の効率化等を求め、適正な予算管理に努めている。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	EITIは、マルチドナー信託基金運営委員会の承認を得た作業計画に従って活動を行っている。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)				
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
点検結果	EITIは、マルチドナー信託基金運営委員会で事業実施報告書が作成されるため、我が国は、これらの内容を精査・把握し、これらを踏まえ、事業の効率化等を求め、適正な予算管理に努めている。 EITIの活動は、資源産出国の不正や腐敗を予防し、もって成長と貧困削減に繋げることにより、当該産出国からの資源の安定供給にも資するところ、エネルギー鉱物資源の多くを輸入に依存している我が国にとっても安定的な資源供給の確保にも貢献する。かかる活動に我が国政府としても継続的な財政的支援を行うことは重要である。				
外部有識者の所見					
-					
行政事業レビュー推進チームの所見					
事業内容の改善	適切な拠出規模について、見直しを図る。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
縮減	任意拠出金のうち優先事項を踏まえて減。				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	-	平成23年	8	平成24年	167